令和4年度春日井市防災対策事業について

1 防災意識の啓発

- (1) 自主防災組織リーダー研修会(令和4年6月25日(土))自主防災組織設置組織数(令和4年5月1日現在)249組織(組織率約97.0%)
- (2) 地域防災組織支援事業(平成25年4月~)令和3年度実績 3団体に交付

2 総合防災訓練の実施

- (1) 日 時 令和4年8月28日(日)午前7時00分~午前10時30分
- (2) 場 所 八幡小学校、春見公園及び市民活動支援センター
- (3) 参加者数 900 名
- (4) 主な新規・拡充訓練等
 - ・PHV車による滅灯信号機への給電及び電源が必要な避難所資機材への給電
 - ・新型コロナウイルス感染症患者等に対する災害医療救護訓練
 - ・女性の視点に立った防災対策 (パネルや備蓄品の展示)

3 春日井市災害時受援計画の策定 ※別紙参照

大規模災害発生時において、被災地外の地方公共団体等からの人的・物的支援や、NPO・ボランティアによる支援を最大限に活用し、円滑かつ迅速に災害応急対策を実施することで、市民の生命・身体・財産を保護すること、また早期の復旧・復興を実現するため、本市の受援体制の整備を目的に、春日井市災害時受援計画を策定。

4 食糧等、備蓄資器材の拡充

- (1) 備蓄食糧と飲料水の拡充や災害時に幅広く活用できる資器材、新型コロナウイルス感染症のような突発的な事態への対策に必要な資器材を備蓄するため、指定避難所 13 施設(防災拠点 1 施設、補完施設 1 施設、指定一般避難所 11 施設) に防災倉庫を増設
- (2) 食糧、飲料水の備蓄計画を現状の人口の概ね10%の2食分から、愛知県東海地震、東南海地震、南海地震等被害予測調査結果に基づく当市の想定避難者数(15,000人)の3食の3日分に見直し、令和5年度までに拡充し、備蓄
- (3) 大規模災害時は屋根が崩落してもすぐに修復することができないこともあることから、被災住宅の応急対策として、新たにブルーシートを令和6年度まで

に 6,000 枚を備蓄

- (4) 避難所の生活環境の向上を図るため、指定福祉避難所に車椅子対応のマンホールトイレを配備するとともに、既設トイレや簡易トイレに使用する排便袋・ 抗菌性凝固剤・排せつ後の処理袋がセットになった災害用トイレセット (300 回分)を各避難所に備蓄
- (5) 多様な避難者に配慮するため、乳児用の液体ミルクを新たに備蓄

5 災害時応援協定等の締結

- ・災害時における自動車等の提供に関する協定(令和4年1月12日) J-netレンタリース株式会社
- ・災害時における応急対策業務の支援等に関する協定(令和4年1月25日) 堀尾物産株式会社
- ・災害時における一時避難施設としての施設利用に関する協定 (令和4年3月25日)

大和ハウス工業株式会社、大和ハウスリアルティマネジメント株式会社

- ・災害時における相互連携に関する協定(令和4年7月29日) 西日本電信電話株式会社
- ・災害時における支援協力に関する協定(令和4年9月1日) 株式会社ほっかほっか亭総本部

6 住宅・建築物の耐震化の促進

(1) 住宅・建築物の耐震化への助成制度

木造住宅無料耐震診断、木造・非木造住宅耐震改修費補助、非木造住宅・耐震診断費・耐震改修設計費補助、耐震シェルター整備費補助、コミュニティ集会施設耐震診断費補助、木造住宅除却費補助、耐震診断義務化建築物耐震改修事業費補助、要安全確認計画記載建築物除去費補助、ブロック塀等撤去費補助

(2) 戸別訪問による住宅耐震化の啓発

緊急耐震重点区域の旧耐震基準住宅への戸別訪問による耐震診断及び耐震改修等補助制度に関する普及啓発を実施(306件)

(3) 耐震改修工事相談会の開催(令和4年6月16日(18組)、令和4年6月18日(24組)、令和4年6月19日(20組))

7 雨水対策

(1) 浸水被害の軽減を図る排水路等整備事業

熊野雨水2号幹線(令和4年度完了予定)、熊野雨水3号幹線(令和5年度 完了予定)、生棚川第1雨水幹線(令和9年度完了予定)、生棚川第2雨水幹 線(令和11年度完了予定)の整備

- (2) 浸水被害の軽減を図る排水設備整備事業 熊野桜佐ポンプ場 (令和4年度完了予定)
- (3) 雨水流出抑制対策事業

熊野桜佐地区雨水 2 号調整池築造工事(令和 4 年度完了)、熊野桜佐地区雨水 3 号調整池築造工事(令和 4 年度完了予定)でオープン式雨水調整池を整備

春日井調整池、宮調整池、宗法調整池、下屋敷調整池(左記4調整池は土地 区画整理組合の進捗にあわせて整備予定)で地下式雨水調整池を整備